

明日への礎

~ The foundation to tomorrow ~

気がつけば長い時が流れていた。

ココは、地球温暖化も、

環境破壊も、戦争もなく、

唯一神が自然界を支配する静寂の世界。

森羅万象——。

万物は自然と同化しひとつのハーモニーを醸し出している。

大地にどっしりと根を下ろしたこの物体は、

あまりにも長い歳月を通じて、

ずっと静かに見守り続けてきた。

すべての時の流れと、人類の営みの一つひとつを、

そして何世代にもわたるその生き様を——。

想いを馳せば、遠い遠い昔、

ITを基幹文明とした21世紀の社会で、

人々はいったい何を追い求め、そして何を積み上げてきたのだろうか。

希望？ 夢？ 欲び？ 幸福？ 平和？

それとも限らない文明への野望？

すべては明日のために——。

何も語らぬこの石積みの物体は、

人類が積み上げてきた“業”の象徴なのかも知れない。

そして、さらに永劫へと続く未来に向かって、

また何かを見つめようとしている。

時の礎となるために——。

土屋公雄

作品名：「永劫」ETERNITY 1990

■略歴

1955 福井市生まれ
1977 日本大学芸術学部建築デザイン科卒業
1989 チェルシー美術大学大学院彫刻修士課程修了(ロンドン)
1999 ロンドン芸術大学より名誉学位授与
現在 武蔵野美術大学建築学科 客員教授

■受賞歴

第3回朝倉文夫賞、第14回現代日本彫刻展大賞、第4回五島記念文化賞
第11回本郷新賞、'04文化庁賞上優秀賞、その他

■コレクション

東京都現代美術館、世田谷美術館、モントリオール現代美術館、
東京空襲平和モニュメント、その他